



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和7年1月20日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディエスディーゼズスイシンキョウギカイ
団体名 岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 11回目(平成27年度から)
課題	京山地区ESD・SDGs推進協議会は毎年、ESD・SDGsフェスティバルにおいて地域課題を論議している。平成27年以来、京山地区の最大の課題であると指摘された「自転車マナー」の向上に向けて、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指している。
事業の目的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことのひとつである。京山地区ESD・SDGs協議会では、ESD・SDGsの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。 ①京山地区の地域課題ランキングの第1位の「自転車のマナーの改善」、「やさしく走ろう京山」運動に取り組み、京山地区が安全で安心できる地域を作っていく。 ②「やさしく走ろう京山」運動を通して、“自転車先進都市おかやま”をめざす先進的な取り組みにする。 ③この運動を通して、SDGs目標11の「住み続けられるまちづくり」を京山地区で一歩進める。

事業の内容	① 伊島、津島小学校、京山中学校への積極的な働きかけを行う。 ・「やさしく走ろう京山」運動の認知度を小中学生に広めるために、「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカー、さらに宣伝のためのロゴの入ったクリアホルダーなどを児童、生徒に配布する。 ・伊島小学校、津島小学校、京山中学校の児童、生徒あてに「やさしく走ろう京山」運動についての意識を深めるアンケートを実施する。 ・伊島、津島小学校の交通安全教室が開催された時には、出向いて、「やさしく走ろう京山」運動の趣旨を伝える。 ② 京山地域住民に対しては、「やさしく走ろう京山」運動のポスターを公民館、交番、各学校、町内会など、京山地区の様々な場所に掲示する。啓発プレート、啓発ステッカー、ポスターを公民館などに常時置く。 地域の絆プロジェクトだよりを発行し、全戸配布する。 ③ 昨年からの重点課題である、ヘルメット着用の努力義務化に対する取り組みを行う。前年は、自転車マナー向上協働行動でヘルメット着用義務化のチラシを配布したり、交通安全教室などで他団体とも協力しながら積極的な着用を呼びかけた。この取り組みをさらに進めたい。「自転車マナー向上交通教室」を開催する。 ④ 「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざし、「やさしく走ろう岡山」運動を展開する。隣接地区の御野学区、石井学区を手始めに、まず「やさしく走ろう岡山」のステッカーを配布する。 伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などとの協働の取り組みで、岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」を実施する。 ⑤ 「やさしく走ろう岡山」運動については、この運動にかかわる多くの方に集ってもらい「地域の絆プロジェクト」で論議し、新たな取り組みを実施していく。 ⑥ この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。
期待される成果・目標	① 「やさしく走ろう京山」を広げ、啓発プレート・ステッカーを付けること、ポスター、のぼりなどによって自転車マナー意識の向上を行い、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になること。 ② 「やさしく走ろう京山」運動を発端とし“自転車先進都市岡山”への取り組みを進めることで、岡山市が大きな課題としている、自転車マナーの向上が進む。 ③ ヘルメットの着用が増えることにより、自転車乗車時の安全性がより高まる。 ④ 各小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施した結果、「やさしく走ろう京山」運動の認識度”知っている“を50%以上にする。
企画などの工夫	① 現在協働行動ができていて、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。また、この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、「やさしく走ろう岡山」運動を進めたい。 ② ヘルメット着用の努力義務化に伴い、取り組み方法を工夫・検討して取り組む。 ③ やさしく走ろう京山の文字・ロゴの“見える化”を進める。 (プレート、ステッカーポスター、のぼり、クリアファイルなど)
協働する団体等	・岡山市立伊島小学校 ・岡山市立津島小学校 ・岡山市立京山中学校 ・御野学区各種団体 ・岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ ・明誠学院高等学校、岡山工業高等学校 ・岡山商科大学付属高等学校

事業の情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」（年4回発行）を地域の全戸に配布（約1万世帯） ・京山地区E S D・S D G s 推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊、参加団体への取り組み説明。 ・オニビジョン、山陽新聞などマスコミ関係に積極的に呼びかけ。
学区地区への広がり	・「自転車マナー向上協働行動」を軸に他地区、岡山市全体への働きかけをし、「やさしく走ろう岡山」を広げる。 ・ヘルメット着用の努力義務化に伴い、京山地区の住民にその趣旨の徹底、啓発を行う。 ・ポスター掲示、のぼりの設置を充実させる。
前年度からの見直し拡充点	・交通安全の基本は「小中学生スタートを」という基本から、各学校の教育内容に踏み込めないところがある中、連携を深めたい。昨年度達成できなかった、知っているを50%以上に高める。“聞いたことがある”を含めて85%から90%とする数値目標を掲げる。 ・家族のヘルメット着用は小中学生の認識で、50%に近付いている。是非とも50%以上にし、ヘルメット着用が常識という気運を作り出したい。 ・「やさしく走ろう京山」から「やさしく走ろう岡山」運動に広げ、フェスティバルの地域の絆プロジェクトで出た取り組みをすすめる。 ・「自転車マナー向上協働行動」を各学期1回、開催する。 ・前年度、審査会委員の方から指摘のあった、「駐輪マナー向上」「自転車盗難防止」にも役立つことを、積極的にアピールしていく。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・「やさしく走ろう京山」運動についての認知度を地域住民、小中学生に深めるために、ポスター、のぼり旗による呼びかけ、啓発プレート、ステッカー配布を積極的に進める。 ・「やさしく走ろう岡山」のステッカー配布からスタートし、少しでも自転車マナー向上のための取り組みをしたいと考えています。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ （ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に努める。 また、引き続きこくみん共済からの寄付金を得る。
その他PRしたい点	・審査員の方から、「地域の課題かつ、地道な努力が必要な活動をありがとうございます。あらゆるセクターとの協働も素晴らしいと感じました。」「なかなか成果が見えにくいとは思いますが、意義深い運動であり10年目を迎えるとのことで素晴らしいと思いました。今後とも継続して頑張ってください。」とおおむね評価をいただいています。令和7年度以降も啓発プレート、ステッカー、クリアホルダー「やさしく走ろう京山」の配布、ポスター掲示の依頼、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・令和6年度に「やさしく走ろう岡山」のステッカーを作り「やさしく走ろう京山」から「やさしく走ろう岡山」運動に広げる決意をし、令和7年の京山地区E S D・S D G s フェスティバルの地域の絆プロジェクトで論議を進め、今後の取り組みの方向性を見出したいと考えています。 ・自転車乗車時のヘルメット着用について、各団体の活動で徐々には進んできているようです。今後とも常態化するように、様々な団体と連携して協働行動を強化したい。

事業スケジュール 随時、プレート、ステッカー、ポスター配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 ポスターを関係機関へ配布 伊島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布 京山地区パトロール隊定例会議
5月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島認定こども園へプレート、ステッカー配布 ポスターを関係機関へ配布
6月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
7月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 京山中学校へプレート、ステッカー配布 伊島、津島、京山中学校へクリアホルダー配布
8月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
9月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 ポスターを関係機関へ配布 京山中学校でのアンケート調査
10月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「自転車マナー向上協働行動」の実施 地域のイベントで啓発プレート、ステッカー、ポスター配布
11月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議
12月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 京山地区ESD・SDGsフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議
3月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区パトロール隊定例会議 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収 支 予 算 書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	200,000	200,000	
実施団体負担金	36,200	35,000	京山地区ESD・SDGs推進協議会
参加者負担金			
協賛金	45,000	45,000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄附金、他収入	118,800	120,000	
収入合計	400,000	400,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	268,116	222,300	啓発プレート・ステッカー・のぼり作成代 地域の絆だより用紙代
②食糧費	5,384	5,000	活動スタッフ 飲み物代
③印刷製本費	126,500	172,700	クリアホルダー、ポスター 増刷
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
支出合計	400,000	400,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ ○希望しない
----------------	---------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。